

進級テスト 空手

4・7・10・1月の最終練習日が試験日
試験代：2,160円

帯	級	次級昇級への必須条件
白	13 (入会時)	入館・退館時の挨拶
	12	着衣・帯
青	11	基本(突き)
	10	基本(蹴り)
橙	9	基本(受け)
	8	基本稽古の把握・理解 組手の出来具合
黄	7	組手の出来具合・型
	6	組手の出来具合 基本稽古の正確性・型
緑	5	組手の出来具合・型
	4	組手の出来具合 移動稽古の形の正確性・型
紫	3	組手の出来具合・型
	2	5人組手・全ての基本稽古の理解・型
茶	1	10人組手・2級までの型の中から4つ
黒	初段～	20人組手～

- ◆昇級試験は基本的に「①基本稽古 ②移動稽古 ③ミット ④型 ⑤組手」の5項目を行い、各級に応じた能力を判断し、昇級するものとします。
- ◆前級の内容も含めて加味します。
例えば、8級から7級に合格する為には、8級までの必須条件を全てこなし、上記5つの審査内容が昇級にふさわしいと判断される必要があります。
- ◆昇級の判断に関して当空手スクールでは、健全で我慢強い「心・技・体」を確立する事をテーマに行っています。形が綺麗であったり、内容をきちんと把握していたりは最もですが、礼儀や挨拶・言葉遣い・稽古における態度などを技術面より重要視します。審査の内容は、型を除いて全ての級で同じ内容を行い、前述の重要視するポイント、上記の必須事項を加味し、各級毎に判断します。
- ◆普段の稽古からが審査です。試験の日だけしか挨拶しなかったり、真面目にやらなかったりは出来云々昇級の対象外です。試験は普段の稽古を見せる場であり、『テスト』の意味合いとは少し違います。将来へ確固たる人格形成が出来る様、普段から厳しい所は厳しく、楽しむ所は楽しんで稽古に当たる様にしましょう。